

## ショクダイオオコンニャクが小石川植物園で開花

■ 邑田 仁 (植物園 教授)

理学系研究科の附属施設、小石川植物園は、野生熱帯植物の収集に長い歴史をもち、現在でも珍しい植物を多数保有している。温室が小さいため、多くの種類を同時に長期間維持することは難しいが、小石川が親元となり日本各地の植物園に分譲されて活躍している植物は少なくない。ショクダイオオコンニャクはインドネシアのスマトラ島だけに生育する希少植物であり、高さ3メートル、直径1メートル以上にもなる大きな花序を咲かせ、悪臭を放つので有名である。1991年に一度開花させており、日本最初の開花であったが、その株は3年で枯死してしまった。その後、1993年に複数の種子を入手し、これから育てた株

のうちの1株が次第に成長して、今回、2010年7月22日夕方から開花した。高さ約1.5mの中型の花序だった。これに先立ち2008年に鹿児島で開花した2株、東京都内で開花した1株はいずれも小石川植物園から分譲した姉妹株であり、浜松で咲いた別系統の1株に次いで、今回の開花は日本で6例目となった。開花前から新聞・テレビに何度も取り上げられたため、猛暑の中、開花後の3日間だけで2万人の方が来園された。すこしでも観覧スペースを確保するため、温室から広場に出して展示したが、施設の収容能力を超える人出となり、十分に観察していただけなかったことが反省される。現在進行中のLife in Green計画を通じて、注目度にふさわしい施設に整備していきたい。



■ 開花したショクダイオオコンニャク

## 東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
<b>2010年6月18日付学位授与者(3名)</b>			
論文	物理	江澤 雅彦	グラフェン・ナノディスクの電氣的磁氣的性質(※)
課程	生化	山内 俊平	新規IKBタンパク質の同定および解析(※)
課程	生科	坂口 潤	イネにおける空間的な葉脈パターン形成の分子機構の研究(※)
<b>2010年7月26日付学位授与者(1名)</b>			
課程	生化	角木 基彦	マウスモデルを用いたHIV-1複製機構の解析
<b>2010年7月30日付学位授与者(1名)</b>			
課程	地惑	清木 達也	非静力学モデルにおける2モーメント法雲微物理モデルの開発と雲の光学特性に関する研究(※)

## 人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2010.7.16	物理	助教	松浦 弘泰	採用	
2010.8.1	地惑	准教授	田近 英一	昇任	大学院新領域創成科学研究科・教授へ
2010.8.1	ビッグバン	客員准教授	MENEGETTI MASSIMO	採用	
2010.8.1	天文研	助教	諸隈 智貴	採用	
2010.8.31	化学	助教	小林 潤司	辞職	

## 第 18 回東京大学理学部公開講演会のお知らせ

広報委員会

われわれを取り巻く自然界の成り立ちとしくみを調べるのが理学の究極の目的です。そのためには自然を構成する物質とそれが表す情報の両方を知り、その関係を明らかにすることが重要です。今回は、これらを直接の対象としている研究の中からとくに興味深い3つの話題を取り上げます。化学・情報科学・物理学での最新の研究成果が日常生活とどのような繋がりをもつのかもご紹介いたします。」

「光で ON - OFF する物質を創る」

大越 慎一 (化学専攻 教授)

「モデルと本物：化学と生物学の場合」

萩谷 昌己 (情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 教授)

「原子核の新しい顔」

大塚 孝治 (物理学専攻 教授)

**日 時** 2010年11月7日(日) 14:00～16:40

**会 場** 東京大学本郷キャンパス 安田講堂

**入 場** 無料。事前申込不要。どなたでもご参加いただけます。

**定 員** 700名(当日先着順)

**中 継** インターネット配信を予定。

**主催・問い合わせ先** 東京大学大学院理学系研究科・理学部広報室

TEL: 03-5841-7585 E-mail: kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

URL: <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/PL18>

## あとがき

4月から広報誌編集委員をおおせつかりました、化学専攻の加納と申します。「ニュースのバックナンバーはウェブからすべて閲覧可能」と会議でお聞きして、早速拝見いたしました。第一号(1969

年発行)を読みましたところ、当時の理学部長、久保亮五先生が、「理学部の皆さんの協力によって、これがやがて新しい理学部をつくるひとつの力にまで育てゆくことを望みたい」と書いておられ

ました(詳しくは、本誌41巻4号をご参照ください)。歴史ある本誌に、微力ながら貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

加納 英明 (化学専攻 准教授)

7月から大島さんの後任として理学部ニュースの編集および理学部ホームページを担当することとなりました宇根と申します。

主にデザイン面で理学部ニュースに携

わることになるかと思いますが、読者の方々に興味をもって見ていただけるように、最先端の研究内容などを紹介していきたいらいいなと思っております。

まだ慣れない部分も多いですが、ご指

導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

宇根 真 (情報システムチーム)

第42巻3号

発行日: 2010年9月21日

発行: 東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集: 理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会 (e-mail: rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

牧島 一夫 (物理学専攻) maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

広報・科学コミュニケーション:

吉川 一郎 (地球惑星科学専攻) yoshikawa@eps.s.u-tokyo.ac.jp

横山 広美 yokoyama@sp.s.u-tokyo.ac.jp

野崎 久義 (生物科学専攻) nozaki@biol.s.u-tokyo.ac.jp

HP担当: 柴田 有 (情報システムチーム)

加納 英明 (化学専攻) hkano@chem.s.u-tokyo.ac.jp

shibata.yuu@mail.u-tokyo.ac.jp

斉藤 直樹 (総務チーム) saito.naoki@mail.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン: 宇根 真 (情報システムチーム)

小野寺正明 (広報室) onodera.masaaki@mail.u-tokyo.ac.jp

une.makoto@mail.u-tokyo.ac.jp

印刷: 三鈴印刷株式会社